



## 津山市総合防災訓練

11月17日 吉井川南岸河川敷



震度6強の大規模地震が発生し、家屋の倒壊、道路や水道の寸断などを想定した防災訓練が行われました。

避難誘導や消火活動、負傷者の救助や治療活動などを、それぞれ関係機関や団体、市民など約600人が有事さながらの緊張感で行い、防災意識を高めました。



## 自然って面白いこといっぱい

環境体験ツアー森の学校 2013

11月9日、久米山ふれあいの森・久米山ふれあいロッジ（神代）で環境体験ツアー森の学校2013が開催されました。

森の中で、植物の実や昆虫の話聞きながら散策して、拾い集めた木の実などを使った炭作りや、シイノキとウラジロガシの植樹体験をしました。

親子で参加した笹尾京香さん（一宮小2年生）は「普段は外で遊ぶことが少ないけれど、森にはいろんな植物があるし、炭がどうやってできるかわかって楽しかったです」と話してくれました。

## 三世代交流もちつき大会

11月17日 ぐりむ(加茂)児童館(加茂町中原)



子どもたちに昔ながらの餅作りを体験してもらおうと、母親クラブと中原青年有志などが協力して開催した、餅つき大会に約100人が参加しました。

子どもたちは、地元の人たちと一緒に餅をつき、小さな手で器用に餅を丸めると、あんこやきなこ、大根おろしなどを付けて餅をおいしそうに、ほお張っていました。

## 津山の味、食べてみんちゃい

第8回ご当地グルメでまちおこしの祭典!! B-1グランプリin豊川

11月9・10日、愛知県豊川市でB-1グランプリin豊川が開催されました。津山市からは、津山ホルモンうどん研究会が5回目の出展をし、津山の味や接客、ステージイベントなどで津山をPRしました。

全国から過去最多の64団体が出展し、2日間で約58万人の来場者があった会場では、どのブースにも長蛇の列ができていました。

津山ホルモンうどんの列に並んだ人からは、「これを目当てに東京から来場しました」という声も聞かれました。



## ケーキ選びに迷っちゃう

第8回津山スイーツフェスタ

11月9・10日、ソシオ一番街で第8回津山スイーツフェスタが行われました。

1枚のチケットで3個のケーキが選べるスイーツフェスタ。9日は、9店舗からナシやラズベリー、カボチャなど季節感のあるケーキなど約70種類がショーケースに並びました。

グループで来た人は、それぞれが選んだケーキを商店街のオープンカフェで食べ比べたり、持ち帰ったりしていました。

## 宵のだんじりを見て聞いて

美作国建国1300年記念事業 宵のまち歩き・徳守祭宵宮編



10月26日、市内中心部で城西浪漫館が主催する宵のまち歩き・徳守祭宵宮編が行われ、市内外から約30人がだんじりなどの見学を楽しみました。

ガイドの説明を受けながら、だんじりの出動町内を巡り、坪井町の「龍珠臺」が小豆島から



彫り師を招いて作られたことなど、津山まつりの歴史やいわれを熱心に見聞きしていました。宮脇町では、市内最古のだんじり「簾珠臺」に乗る体験をして、興味深そうに間近で彫り物を見ていました。

徳守神社の大神輿や福渡町の「龍輦臺」、田町の子供奴行列の練習にも立ち寄り、宵祭りの雰囲気を楽しんだようでした。



## 津山ショウガ収穫体験

10月28日 新田地内



津山の食材を使ったレシピコンテストで、あったか生姜あんかけや鶏モモのレモン生姜煮などを考案した津山東高等学校の2年生37人が、津山産ショウガの収穫体験をしました。

生徒たちは植え付けや草取りなども行い、「食材の大切さを学ぶことができました。もっとレシピを考えたいです」と話しました。

## 津山小麦まつり

11月2日 JAつやま小麦製粉施設(横山)



津山産小麦をPRしようと初めて開催された津山小麦まつり。現在、市内で生産されている2種類の小麦の統一名称を「津山のほほえみ」とすることが発表されました。

会場では、津山ロールや津山餃子など関連商品が販売されたほか、津山サンドの早食い大会も行われ盛り上がりを見せていました。

## 美作国の総鎮守で猿神伝説

住民参加奉納ミュージカル「みまさか猿神退治」

10月27日、中山神社（一宮）の境内で、同神社に伝わる猿神伝説を基にした住民参加ミュージカル「みまさか猿神退治」の奉納公演が行われました。

夕暮れ時、特設ステージ奥の拝殿と摂末社が照明に照らされた神秘的な雰囲気の中、娘をいけにえとして要求する猿神を退治する物語が演じられました。

4歳から88歳の出演者50人は、昨年6月のオーディション以降の集大成を躍動感のある動きと表現力豊かな歌で披露して、約300人の観客を魅了しました。

